

拡大研修委員会

- 担当副理事長名：牧田 芳明
- 委員長名：柿崎 孝宏
- 副委員長名：長野トーマスマコト
- 委員名：磯野 享史、奥西 希生、中村 太一、根本 紗央里
- 作成者名：柿崎 孝宏

1. 委員会活動方針

青年会議所は定年制であり、何もしなければ会員の人数と共に、青年会議所運動のまちへの影響力も低下していきます。明るい豊かな社会の実現に向けて、私たちが継続的に力強い運動を展開し続けていくためには、まちで活躍する若者を一人でも多く集めて、まちに対し関心を高めて組織一丸となった運動をしていく必要があります。

本年度、拡大研修委員会では拡大対象者にとって青年会議所に対する入口のハードルを下げる会員拡大と青年会議所運動の基礎的な方針をより理解して、会員として成長するだけでなくまちへの関心を高める研修を行い会員の資質向上に繋がります。まずは、我々が主催する事業に拡大対象者が自然と参加しやすい環境を作り、当会議所の魅力を効果的に伝え、組織一丸となって拡大活動をしていきます。そして、神奈川ブロック協議会会長公式訪問に参加し、神奈川ブロック協議会の運動指針を学ぶことで青年会議所運動の理解を深める機会を提供します。また、近隣の地域との交流を介して、まちへの関心を高めて、まちの事を学ぶ3 LOM 合同例会を行います。また、まちの若者たちに当会議所運動やまちについて考え、話し合う機会を作り共感を得るきっかけとします。最後に、入会の浅い会員が事業構築を体験することで、事業を作る事の大変さや達成感を得ることができ、早期に当会議所を支えられる会員となる為の研修を行います。

これらの事業を行うことによって、青年会議所運動とまちについて学び、よりまちで活躍できる人材となった会員ひとりひとりが積極的に拡大活動を行う事で、継続的に青年会議所運動を展開し続けることができます。そしてそれは、我々が目指している明るい豊かな社会の実現の一助となると確信します。

2. 委員会事業計画

(I) 会員拡大と継続拡大基盤作りの実施

- (a) 内容：会員拡大活動並びに継続拡大できる基盤作り
- (b) 時期：2019年 1月～12月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(II) 青年会議所運動の方向性を学ぶ事業の実施

- (a) 内 容：神奈川ブロック協議会会長公式訪問への参加
- (b) 時 期：2019年 2月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(III) まちへの関心を高め学ぶ事業の実施

- (a) 内 容：3LOM合同例会の開催（主管：公益社団法人鎌倉青年会議所）
- (b) 時 期：2019年 6月
- (c) 対 象：公益社団法人鎌倉青年会議所会員を対象に40名程度並びに入会希望者
一般社団法人逗子葉山青年会議所
一般社団法人藤沢青年会議所
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(IV) 若者たちと語り運動やまちの魅力を伝える事業の実施

- (a) 内 容：交流会の開催
- (b) 時 期：2019年 8月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(V) 即戦力育成のための事業の開催

- (a) 内 容：入会の浅い会員で事業構築を学ぶ事業の開催
- (b) 時 期：2019年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加